

模擬検査、児童ら真剣

伏見・池田小 山科の病院で体験



京都市伏見区醍醐の池田小の児童が27日、近くの洛和会音羽病院（山科区）を訪れ、医師や看護師の仕事を見学し、白衣姿で模擬検査や検査に挑戦した。医療の分野に興味を持つため、洛和会丸太町病院（中京区）と同病院が昨年から始めた体験実習。今年と同小のほか、市内3小学校の児童を順次

真剣な表情で模擬検査に取り組む子どもたち（京都市山科区・洛和会音羽病院）

招いている。

池田小の3年生54人は薬剤師や放射線技師らの6部門に分かれてそれぞれの仕事内容を見学した。看護師部門では、包帯の巻き方や聴診器の扱いを学び、出産病棟では乳児と対面した。臨床工学技士部門では、血液に見立てた試薬を使って血液型の模擬検査を体験した。児童は真剣な表情で薬品を試験管に移し、遠心分離機に入れて液体の変化を観察していた。

安井太一君（9）は「病院の仕事を間近で見るのは初めてだったので面白かった」と話した。（今野麦）